

Matsuda

（松田町議会だより）

No.201
2016.2.15



1/17 子ども会 新春駅伝大会

ゴールを目指し タスキを繋ぐ!

姉妹町 千葉県横芝光町の小学生も参加

第4回定例会の概要 2

条例改正・補正予算・議員発議など

議案審議結果一覧 4

一般質問 5

住みやすい町を目指して⁽²⁴⁾ 10

平成27年第4回定例会

会期

12月2日(水)～4日(金)



消防団による出初式

第1回(2回)	一般質問7人
第2回(3回)	一般質問3人・議会全員協議会
第3回(4回)	議案13件（条例の一部改正、指定管理者の指定、補正予算）・同意2件・発議1件の審議等
	※3回目の議案等の審議概要は、次のとおりです。なお、一般質問は、5ページからのページに掲載しています。

- 松田町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び松田町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
- 被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律等の施行に伴い、条文の整理をするものです。
- 松田町税条例等の一部を改正する条例
- 地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、徴収・換価猶予関係の新設、減免申請関係の条文整理、固定資産税の減額割合の追加、軽自動車税の税率の特例等の改正をするものです。
- 松田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び

- 松田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 松田町健康福祉センターの指定管理者の指定について
- 松田町社会福祉協議会を、平成28年4月1日から5年間、指定管理者に指定するものです。
- 松田町やまびこ館の指定管理者の指定について
- 松田町自然休養村養魚組合を、平成28年4月1日から5年間、指定管理者に指定するものです。
- 平成27年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 平成27年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算の内容は、職員給与費の減額に伴い、一般会計からの繰入金を減額するものです。
- 平成27年度松田町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 補正予算の主な内容は、

条例の一部改正

●松田町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び松田町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律等の施行に伴い、条文の整理をするものです。

- 松田町税条例等の一部を改正する条例

- 松田町健康福祉センターの指定管理者の指定について

- 松田町地域集会施設等の指定管理者の指定について
- 松田町児童館等の指定管理者の指定について

- 以上2件は、地域集会施設や児童館等の施設がある地元の自治会を、平成28年4月1日から5年間、指定管理者に指定するものです。
- 平成27年度松田町上水道事業会計補正予算（第3号）
- 道事業会計補正予算（第1号）
- 平成27年度松田町一般会計補正予算（第3号）
- 一般会計補正予算の主な内容は、ふるさと納税の増額、人件費の補正、障害者自立支援給付費の増額、県西地域ウォーキングコース整備費の増額、広域消防事務負担金の増額などです。
- 平成27年度松田町寄簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 寄簡易水道事業特別会計補正予算の主な内容は、相互運転している弥勒寺第1水源の送水ポンプ2基のうち、1基が故障し修理不能となつたため、工事請負費を増額するものです。
- 平成27年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 平成27年度松田町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 補正予算の主な内容は、

- ## 一般会計ほか補正予算
- 平成27年度松田町一般会計補正予算（第3号）
- 一般会計補正予算の主な内容は、ふるさと納税の増額、人件費の補正、障害者自立支援給付費の増額、県西地域ウォーキングコース整備費の増額、広域消防事務負担金の増額などです。
- 平成27年度松田町寄簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 寄簡易水道事業特別会計補正予算の主な内容は、相互運転している弥勒寺第1水源の送水ポンプ2基のうち、1基が故障し修理不能となつたため、工事請負費を増額するものです。
- 平成27年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 平成27年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算の内容は、会計補正予算の内容は、職員給与費の減額に伴い、一般会計からの繰入金を減額するものです。
- 平成27年度松田町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 補正予算の主な内容は、

- 平成27年度松田町上水道事業会計補正予算（第3号）
- 道事業会計補正予算（第1号）
- 平成27年度松田町一般会計補正予算（第3号）
- 一般会計補正予算の主な内容は、ふるさと納税の増額、人件費の補正、障害者自立支援給付費の増額、県西地域ウォーキングコース整備費の増額、広域消防事務負担金の増額などです。
- 平成27年度松田町寄簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 寄簡易水道事業特別会計補正予算の主な内容は、相互運転している弥勒寺第1水源の送水ポンプ2基のうち、1基が故障し修理不能となつたため、工事請負費を増額するものです。
- 平成27年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 平成27年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算の内容は、会計補正予算の内容は、職員給与費の減額に伴い、一般会計からの繰入金を減額するものです。
- 平成27年度松田町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 補正予算の主な内容は、



旧松田土木事務所用地

人事の同意案件

● 固定資産評価審査委員会委員の選任について

平成27年12月14日をも

つて、1名の委員が任期満了となるため、次の方が選任（再任）されまし

た。

● 人権擁護委員の推薦について

平成28年3月31日をも

つて、1名の委員が任期満了となるため、次の方が選任（再任）されまし

た。

業組合システム改修費負担金及び高額介護サービス費を増額するものです。歳入歳出それぞれ320万2千円を追加し、予算総額を9億7761万1千円とするものです。

● 平成27年度松田町用地取得特別会計補正予算（第1号）

用地取得特別会計補正予算の主な内容は、町屋地区の旧松田土木事務所用地を購入するため増額するものです。歳入歳出それぞれ1億2200万円を追加し、予算総額を2億523万7千円とするものです。

議員発議

● 活火山防災対策の強化を求める意見書の提出について

箱根町大涌谷周辺の火山活動により、住民生活や地域経済に深刻な影響

を与えていることから、更なる防災対策の強化や支援の拡充を求めるため、議員より提案をしました。意見書は、左記のとおりです。

以上の議案等を審議し、原案のとおり、可決・同意しました。詳しくは、4ページの審議結果一覧をご覧ください。

審議の結果

神奈川県足柄上郡松田町議会

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、
総務大臣、国土交通大臣、内閣府特命大臣 } 殿

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年12月4日

議案審議結果一覧

第4回定例会(12月議会)

○…賛成 ●…反対 可…可決 否…否決 同…同意

議案等番号	議案名(議席順) 議案等	審議結果	平野由里子	田代実	南雲まさ子	中野博	飯田一	利根川茂	小澤啓司	石内浩	斎藤永	鈴木眞徳	大館秀孝
議案 40	松田町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び松田町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	松田町税条例等の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	松田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び松田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	松田町健康福祉センターの指定管理者の指定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	松田町やまびこ館の指定管理者の指定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	松田町地域集会施設等の指定管理者の指定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	松田町児童館等の指定管理者の指定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	平成27年度松田町一般会計補正予算(第3号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	平成27年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	平成27年度松田町上水道事業会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	平成27年度松田町寄簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	平成27年度松田町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	平成27年度松田町用地取得特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 6	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	人権擁護委員の推薦について	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議 7	活火山防災対策の強化を求める意見書の提出について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 井上栄一議長は採決に加わらない。

※ 発議…議員が意見書や条例等の議案を提案すること。

一般質問

ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。



協働のまちづくりで住みやすい町を

自治基本条例の制定は！



質問者
利根川 茂 議員

平成29年3月
までに
制定する



回答（町長）

本山町長の選挙公約である自治基本条例は、行政運営の柱であります。平成27年3月の定例会において、任期中に必ず制定し、実施しますと力強く宣言されました。

本山町長の任期は、あと2年を切っております。必ずこの自治基本条例を任期中に実施されるのか、お伺いいたします。

また、実施できない見通しであれば、この公約を撤回されるのか、明確にお答えください。

自治基本条例とは、「情報の共有、町民参加、協働」などの自治の基本原則や町民、首長、行政等の権利と責任、役割、情報公開、審議等への町民

参加を定めていて、県西2市8町では、松田町だけが制定していない。

平成28年3月までには「素案」を提示し、住民座談会やインターネット等で意見を求め、平成29年3月までには制定する。

内容は、北海道一セコ町を参考に、本町にあつた少子高齢化等時代に沿った自治運営の基本的な原則を定めた条例にしたいと考えている。

その必要な経費は、平成28年度予算に計上して



概ね弊害なく
進んでいる

回答（町長）

機構改革を実施し 現在の状況は



質問者
鈴木 真徳 議員

昨年10月に定住問題や子育て、防災対策などの諸問題にスピーディーに

取り組み、町民に安心して暮りしていく体制を作るために、機構改革を実施しました。

7課21係を10課2担当

室24係（議会事務局、出納室を除く）へと変更され、すでに1年2ヶ月が過ぎました。そこで質問いたします。

③ 副町長が不在の中、副町長決裁は、町長が行つていると思われますが、3人の参事にある程度の権限を与えるお考えはありませんか。

② 他課に協力を仰ぐことはあつたが、ほぼ弊害はないと考えている。

③ 事務的な部分で不都合は出でない。副町長が決まるまで、当面の間、現行のままいただきたい。

秦野峠林道の観光ルート化の進捗状況を問う



質問者
中野 博 議員



松田と山北を繋ぐ秦野峠林道

- ① 観光立町を目指し、寄地区の活性のためにも、秦野峠林道の観光ルート化は、大変重要な計画であると思います。

- ② 寄付等を受けた湯の沢地区の旧田中邸の跡地利用計画は、その後の進捗状況は。

- ③ 寄付等を受けた湯の沢地区の旧田中邸の跡地利用計画は。

A

松田の活性化に繋げたい

回答（町長）

- ① 山北町より秦野峠林道を緊急避難路、観光資源用道路に位置づけ、地域の活性化を図るうついう提案があり、今後、仮称「山北町及び松田町による秦野峠林道に関する広域連携協議会」を立ち上げる予定である。

- 2020年には、新東名が開通し、近くにスマートインターチェンジができる、観光立町を目指す

- 松田町は、平成15年2月に日本鉄道建設公団から、住宅開発の一環として庶子地区の土地約14000坪を購入し、9500坪を小田急不動産へ売買し住宅分譲が行われました。

- しかし、残った2ヶ所の土地は、12年以上も塩漬け状態にあります。この未用地の活用について、お伺いします。

- ① 砂利線跡地 420m 購入当時は、周辺の住宅開発のため道路整備という方針でしたが、立ち消えとなっています。城山と中里が常光沢で分断されていますので、明日に繋がる橋を架けて、さくら保育園手前の1号線までを町道として整備する考え方について。

- ② 左岸用水吹上げ隣接

松田町でも、寄地区の活性化、観光客誘致、おもてなし政策の一環として重要であると考え、両町連名で、県議団及び県知事に「平成28年度農林業施策予算に関する要望」を行つた。

- ② 7月に寄付申出を頂

き、現在、所有権移転の手続中である。この土地活用に関しては、既に数件の問い合わせがあり、町の活性化のために雇用創出ができる商業施設や防災拠点を考え、スペー

ディーに対応していく。

庶子地区の土地利用を提案、常光沢に明日へ繋がる橋を！



質問者
田代 実 議員



道路整備で利便性向上を(砂利線跡地)

A

常光沢に橋を架け利便性の向上を図っていく

回答（町長）

- ① 砂利線跡地を生活道路として整備すれば、周辺の未用地の活性化に繋がる。

- また、常光沢に橋を架け砂利線跡地と一体的な

- 整備をすることによって、防災上の避難路・町道1号線のバイパス的な方面への道として利用できることから、利便性の向上を図つてい。

- ② この土地は当初、酒匂川親水広場利用者のために、トイレやシャワーを備えた管理棟を予定していた。

- しかし、広場から遠いので、できるならば近くの土地と交換し、管理棟を整備したいという考えがあるが、それまでは、簡易な公園としての利用を含め、地元の方々と相談させていただき、要望を伺い対応していく。

都市計画の策定と駅周辺の活性化を



質問者
齋藤 永 議員

駅前に集中する大量の交通を円滑にさばくとともに、交通機関相互の利便性を増進するために、駅前整備をされていると思います。また、都市美観上及び都市防災上も重要な役割を有する都市施設であります。まだまだ開発途中の松田駅・新松田駅の周辺整備ですが、以下のことをお聞きします。

① 議会全員協議会に出されました新松田南口駅前広場整備事業計画ですが、交通の円滑化やR&R（※下記参照）には、現状解決策になつていないうに思われますが。② 駅勢圏人口をどこまで見て、どのように予測されましたか。

都市計画マスター プランを進めます

回答（町長）

③ 酒匂川左岸縦貫道路を町内に通過させることにより、小田急やJR駅借りながら、都市計画を実施すべきと思われますか。

田原方面行のバスを発着させ、交通渋滞の緩和を図つていぐ。このことにより鉄道やバスへの乗り継ぎが整理され、バリアフリー化と共に利便性が向上すると考える。

② 平成13年度の計画年次では、都市計画区域内として、人口133340人と予測した。今後は、近隣市町の居住人口や小山町までの範囲を駅勢圏と捉え、駅周辺整備計画に向けた調査・研究をしていく。

※R&Rとはバスや鉄道等の公共交通機関の乗り継ぎの事



混雑する新松田駅北口

① 事業がまだ途中ですので、解決に至つていなのが現状です。北口広場のバスの発着と送迎による一般車両の分散化を実施し、南口広場から小

本町でも胃がん検診を実施し、予防に努めているものの、受診率が低調のまま推移しています。そこで次の2点を伺います。

① 松田町総合計画では、がん検診の受診率の向上として、平成26年度21.4%の実績を平成30年度目標では、25.7%と掲げています。どのような方策で受診率を向上させていくお考えでしょうか。

② いま注目されている方法として、胃がんによるリスクを事前に採血によって見つける検診がありますが、町として採用してみてはいかがでしょうか。

町民の健康と命を守る

回答（町長）

① 高齢の方に比べて受診率の低い若い方の受診率を高め、早期発見につながるよう費用や体制面等を研究していく。

② 診者には、自動的に申込みを受けた扱いにし案内している。今後も検診の必要性等をわかりやすく広報紙やホームページで説明し、受診率の向上に取り組んでいく。

② 胃がん検診は、バリウムを飲み身体的負担を伴うため、受診率が低い一因と考えられる。採血ができるABC検診は、胃がん検診の受診率向上にならないが、胃がんの予防と早期発見につながり、胃の健康状態を知ることができ、翌年からの検診につながると考えられる。

国民の死亡原因の1位ががんで、がんの中で第1位が肺がん、第2位が胃がんとなっています。

質問者
南雲 まさ子 議員

胃がん対策の充実を



質問者
南雲 まさ子 議員

町の玄関、新松田駅で「おもてなし」を！



質問者
平野 由里子 議員

新松田駅北口について、トイレや休む場所がないなど、これまでも先輩議員の方々が一般質問に挙げてくださいました。おかげでコスモス館に休憩用の椅子が置かれたり、ロマンス通りにおいてみ処ができるなど、改善された部分もあります。しかし、両施設は常時開いているわけではなく、また、開いていても、休憩に使えることが周知されていないように思います。

また最近、JR松田駅南口の前に若者が群れていることが多々あり、周辺住民の悩みの種になってしまい、通行客も眉をひそめている事態です。「おもてなし」を掲げる

松田町にとって、利用客の利便性と風紀的な問題は、喫緊の問題だと思いますが、町の認識と対応をお聞かせください。

「おもてなし」を打ち出したことでやるべきことが明確に
回答（町長）

A



い。トイレ利用もコスモス館、町の駅に加え、大松園も可能になった。
「新松田駅周辺まちづくり協議会」が立ち上がる所以、町民や駅利用者の意見を聞く場も設け、休憩施設についても検討する。

JR松田駅南口は、松田署にパトロール強化をお願いした。今月、松田署と町合同で声かけパトロールを実施する。駅が町の顔であることは認識している。おもてなし宣言は、議論覚悟の上だったが、打ち出したことでやらなければならぬことが明確になった。



警察との合同パトロール

社会構造の変化により
超高齢化社会が到来し、
この超高齢化社会の課題

解決に向け、健康長寿の
社会づくりが急務とされ、黒岩知事も「神奈川



質問者
飯田 一 議員

松田町の取り組みは

各種事業の充実 拡大に取り組む
回答（町長）

は、病人やその家族について非常に不安と焦燥を感じることと思います。到着時間の短縮と緊急患者の搬送時間の短縮について、改善の可能性をお伺いいたします。

送できるよう努力していく。



① 平成25年に「松田町

は健康寿命日本一を目指す」と宣言されました。当町の取り組みをお伺いいたします。

① 現在の健康寿命延伸の取り組みと、今後の展開はどのようにお考えですか。

番に通報し、救急車が到着するまで、早くても15分から20分かかります。万が一のときの一分一秒は、病人やその家族について非常に不安と焦燥を感じることと思います。「カーナビシステム」や救急車の位置情報により時間の短縮については、無駄なく到着できる。寄地区の他地区と異なる対応は、到着後、救急隊長が、患者の通院している病院、治療可能な病院等の確認を行い、国道246号に合流するまでには、搬送先の病院が決定されている。少しでも早く到着・搬

町政運営の具体的施策を問う



質問者
小澤 啓司 議員



建替えられたJR松田駅舎

① これらを具体化するため、平成28年度予算編成の重点施策は。

本山町政2年が経過し、「人口減少対策の推進」や「おもてなし精神の向上」、「観光客誘致」、「ICT教育の導入」、「ふるさと納税制度の充実」など、町政運営の方針が見えてきた。

下記について質問する。

定住人口の増加を図る



回答（町長）

① 平成27年10月6日の議会全員協議会で、湯の沢地区の土地の寄付等について、説明を受けました

が、依然として変化を感じられません。今後の管理運用計画は。

① この土地の利活用について、ただ宅地造成するのではなく、雇用創出・商業施設や防災拠点などと想え「松田の活性化」に繋げ、少しでも早く税収減を補うよう取り組みたい。町有財産の適切な維持保全と財政負担

② JR松田駅の「ICカード導入やJR駅前公衆トイレの設置は。

② 沿線住民の多数から不便の声が上がっています。「御殿場線利活用推進協議会」や「神奈川県鉄道

(三) 高齢社会を迎える物困難者対策に力を注ぐ。

輸送力増強促進会」を通じてJR東海に強く要望している。また、知事との懇談会や県要望をするなど多方面から要望している。

公衆トイレは、まちづくりの観点からも最重要課題だ。総合的な駅周辺整備計画の中で検討する。



寄付等を受けた湯の沢地区の土地

- （一）交流人口増加策や空家対策など定住人口の増加を図る。
（二）JR松田駅の「ICカード導入やJR駅前公衆トイレの設置は。



籠場の町営住宅の建設計画地

「定住促進に関する土地等の利活用基本計画」を定め取組む



回答（町長）

① この土地の利活用について、ただ宅地造成するのではなく、雇用創出・商業施設や防災拠点などと想え「松田の活性化」に繋げ、少しでも早く税収減を補うよう取り組みたい。町有財産の適切な維持保全と財政負担

② 町営住宅の管理運用について、今まで何回かの一般質問がありました

が、依然として変化を感じられません。今後の管

理運用計画は。

② 河内住宅を除き各町営住宅の老朽化が著しく防災上からも建替え、集約化が喫緊の課題である。籠場に計画中の住宅は、民間資金、経営能力、技術力を活用するF-I方式とし（仮称）

松田町定住促進に関する土地等の利活用基本方針」の中で、町営住宅管理運用計画について、盛り込んでいくように考えている。

の軽減を両立し、必要とする行政サービスの維持・向上を図り、持続可能な行政運営を行うことが必要と考える。

② 河内住宅を除き各町

営住宅の老朽化が著しく防災上からも建替え、集

約化が喫緊の課題である。籠場に計画中の住宅は、民間資金、経営能

力、技術力を活用するF-I方式とし（仮称）

松田町定住促進に関する土地等の利活用基本方

針」の中で、町営住宅管

理運用計画について、盛

り込んでいくように考えている。

このページは、質問者本人の原稿を尊重し編集しています。



住みやすい町を目指して…②

郷土の偉人 二宮尊徳翁と相州御領分絵図

松田町文化財保護委員 草門 隆（神山在住）

現在「広報まつだ」で連載中の身であり、ご辞退を申し上げましたが、編集委員会のご要請を賜り、お受けしたことをご理解願います。

写真は嘉永4（1851）年の「相州御領分絵図」で「御領分」とは、小田原藩領のことです。画いた人は鶴沢苟典さんで、父は小田原藩・大勘定奉行の報徳仕法推進者の鶴沢作右衛門さんです。

この古絵図は小田原市中里の某氏から譲り受けたもので、御先祖は代々名主を努め「酒匂川の東筋33か村の代表世話人」として報徳仕法推進に活躍された治郎左衛門さんです。神山（村）は、この「東筋」に属しますが、松田惣領・松田庶子・寄は「中筋」になります。

古絵図のこと

デホルメされた酒匂川を中心にはく配し、北東からの川音川が合流し、その沿線に関わる村の名等により「尊徳翁の行動エリア」を示すようなものもあり、吟味に値するものです。特に、矢倉沢往還（ふじ道）が、下茶屋あたりから川音川と四十八瀬を4回渡り歩く道筋が橙色の線で描かれており、管見ながらこれは新発見と思われます。



相州御領分絵図 (55×80cm)

二宮尊徳翁のこと

天明7（1787）年に足柄上郡柏山村生誕の尊徳翁が独自に編み出した「報徳」思想・仕法により「江戸末期に我が国の600もの家や藩を蘇らせ、荒廃農村の復興に生涯を捧げた」と言われ、その実績や精神性について明治時代に内村鑑三さんが、著書『代表的日本人』五人の一人に挙げ、海外に発信されています。

筆者としては『封建時代の村民に「村おこし」への、その気・やる気の内発的動機を如何に醸成し高揚させたか』ということや、翁への希少な批判等も含め魅了されています。小田原報徳博物館に属し当町における、明治時代以降の「豊かで住みよい町を目指した」とも言える「報徳運動」の実績などについて調査しています。

大正10（1921）年「松田報徳真穆（ぼく）社」の存在や、当町の偉人・中村舜次郎翁の存在がうかがえますが、史料・情報が少なく難渋しています。これに関する情報等のご提供や、ご教示を頂ければ幸いです。この貴重な場をお借りし、お願い申し上げます。

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下段までご連絡ください。

皆さんのお聴きをお待ちしています！ 第1回定例会は3月1日（火）

委員会広報広聴常任委員会
委員長 石中南雲まさ栄一実茂
副委員長 井上田代利根川
委員 哀内野浩博
委員 委員会広報広聴常任委員会
委員長 石中南雲まさ栄一実茂
副委員長 井上田代利根川
委員 哀内野浩博
改選後の初めての予算議会、ぜひ傍聴にお越しください。
（田代）

この議会だよりが創刊されたのは、昭和41年4月28日のことです。この頃は、イケイケドンドンの高度経済成長期で、松田町も活気に溢れ元気な時でした。あれから50年が経過し201号を発行することになりました。少子高齢化による様々な問題を抱える町政に、議員も施策提案を行い元気な松田にしなければいけません。

集
あとがき